



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第80号(2010年9月30日)



【石油輸出国機構(OPEC)、50周年を迎える】

9月14日にOPECが設立50周年を迎えました。OPECは現在12カ国で構成されており、世界の石油産出量の40%以上をOPECが占めているそうです。

そのため、OPECが持つ政治的な影響力は大きなものでしたが、OPEC自身は意図して目立たないようにしています。たとえば、長らく本部があったウィーンのビルは3階建ての簡素なもので、とても世界的に影響を持つ組織が入っていたとは思えないつましいビルだったようです。

1973年の第一次オイルショックまでは、OPECの存在そのものが欧米ではあまり知られていませんでした。オイルショックによる石油価格の高騰を受けて初めて、いかに原油に依存した生活をしているのか、いかにOPECが力を持っているのかということについて認識が広がったようです。

第一次オイルショックを受けて、欧米の一部のメディアでは「文明が、軍事力による戦争ではなく経済戦争で初めて脅かされた」と論評していたようです。

近年は非加盟国による石油産出量の増加、代替エネルギーへの切り替えなどにより、OPECの原油価格に対する影響力はかつてと比べると落ちつつあるとされています。

一方で、OPECは原油価格を監視するのみではなく、貧困国の発展を援助する組織としても活動しています。OPECは国際的な開発のための基金を設けており、基金の財源はOPEC加盟国からの支出や、基金による投資からの収入などです。

OPECに加入していない途上国も、基金からの支援を仰ぐことができます。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【中東の銀行事情】

世界銀行による最近の調査結果によれば、一人あたりの銀行口座の数は、中東地域ではアラブ首長国連邦が最多となりました。

同じ中東地域でも国によって結果はだいぶ異なり、イエメンでは成人一人あたり0.104の銀行口座があるのに対して、アラブ首長国連邦では同じく成人一人あたり1.751口座となりました。

アラブ首長国連邦では、景気が良かった頃と比べて借入れは困難になっていますが、改善に向けた動きも見られます。

以前は、所得の低い大勢の外国人のうち大半の人は、銀行を使えませんでした。しかし、「新しい賃金保護制度」が2009年に導入されてから、事情は変わりました。

この「新しい賃金保護制度」では給与の支払い情報などが電子的に管理され、未払いなどがあると即座に検出できるようになりました。このシステムに参加することは事業者には義務付けられ、準拠できない事業者は新たに従業員を雇用できないことになりました。制度導入時点では電子的に給与を支払われているのは約50万人と見られていましたが、この制度の導入によって約400万人以上の人が恩恵を受けるとされていました。

給与が銀行口座に振り込まれることになりましたので、所得の低い人々の信用情報もデータベースで管理できるようになり、銀行がそういった人々への貸し出しを審査できるようになりました。また、アラブ首長国連邦の銀行は、マイクロ・クレジットと呼ばれる非常に小額の融資の取り組みも拡充するようになってきました。

一方で、銀行の数は多いものの、サービスの質に問題があるという指摘も出ています。

最近ArabianBusiness.comによって行われたオンライン調査では、中東地域の居住者のうち、3人に1人は銀行のサービスに不満であるという結果が出ています。居住している外国人の約41%は、母国の銀行と比べて質が悪いと回答しています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ドバイ・ワールドが債務再編で合意】

ドバイの政府系持株会社であるドバイ・ワールドが、債務再編で99%超の債権者と合意に至ったそうです。ドバイ・ワールドによる債務返済繰り延べの要請を契機にいわゆるドバイ・ショックが起きたのは昨年11月のことでしたが、これが一つのきっかけとなり、その後いくつもの国の負債の問題に焦点が当たることになりました。

今回、ドバイが負債問題を切り抜けられるという信認により合意に至ったと思われませんが、一方で、ドバイの政府系持株会社の債務問題についての懸念が完全に払拭されたわけではありません。先日、別の政府系持株会社であるドバイ・ホールディングの一部門が、債務の支払いを延期することを明らかにしました。今後の動向が注目されます。

【偽のサッカー代表との対戦】

サッカーのバーレーン代表は先日トーゴ代表と国際親善試合を行い、3-0で勝利しました。ところが、この対戦相手の「トーゴ代表」が偽の代表チームであったことが判明しました。

試合後、トーゴ・フットボール・フェデレーションの会長は「我々はいかなる選手もバーレーンには送っていない。国際親善試合に出た選手は完全に偽者だ。」と語り、バーレーン、トーゴともに試合について調査しましたが、今回の「トーゴ代表」チームは、代表チームの元コーチが偽装したものであったと判明したそうです。

今回の試合結果は公式記録として残るのでしょうか。いずれにせよ、前代未聞のテストマッチとなりました。

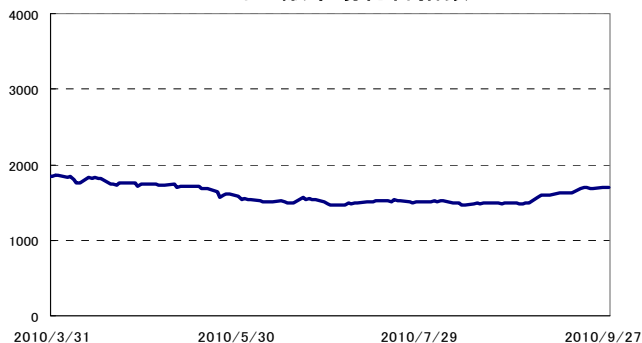


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

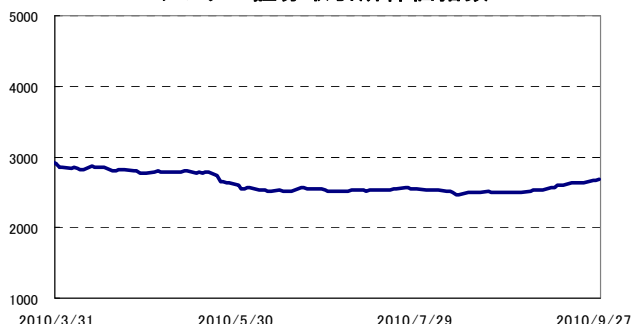


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

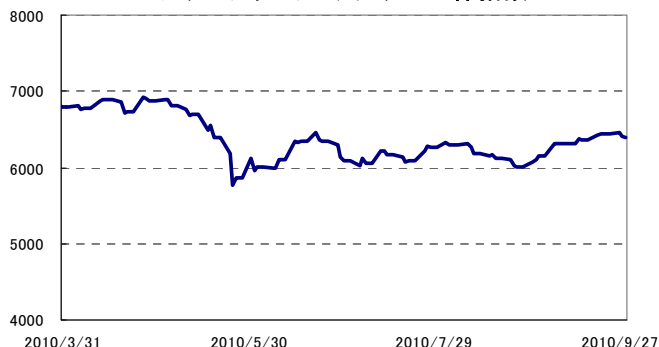
ドバイ金融市場総合指数



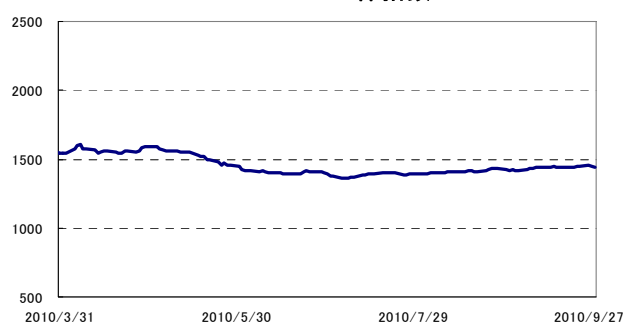
アブダビ証券取引所株価指数



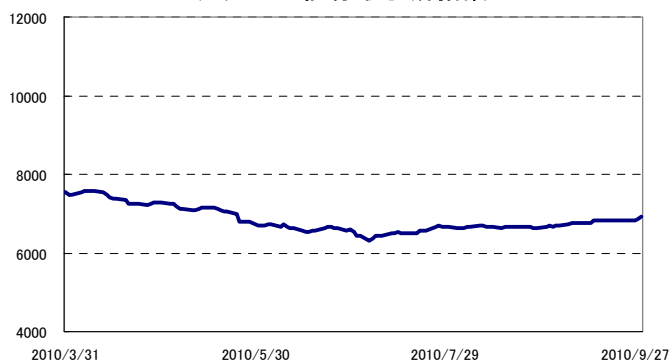
サウジアラビア タダウル全株指数



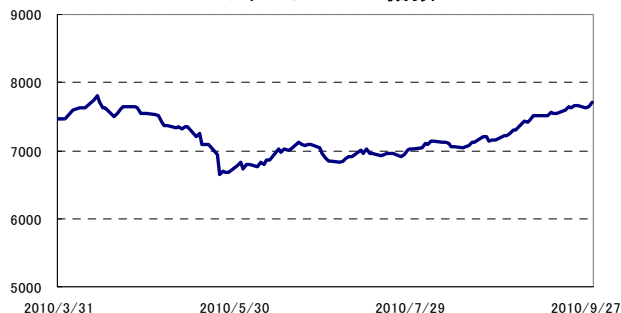
バーレーン全株指数



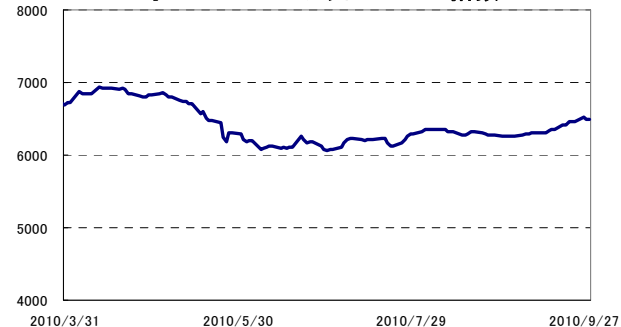
クウェート証券取引所指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。